

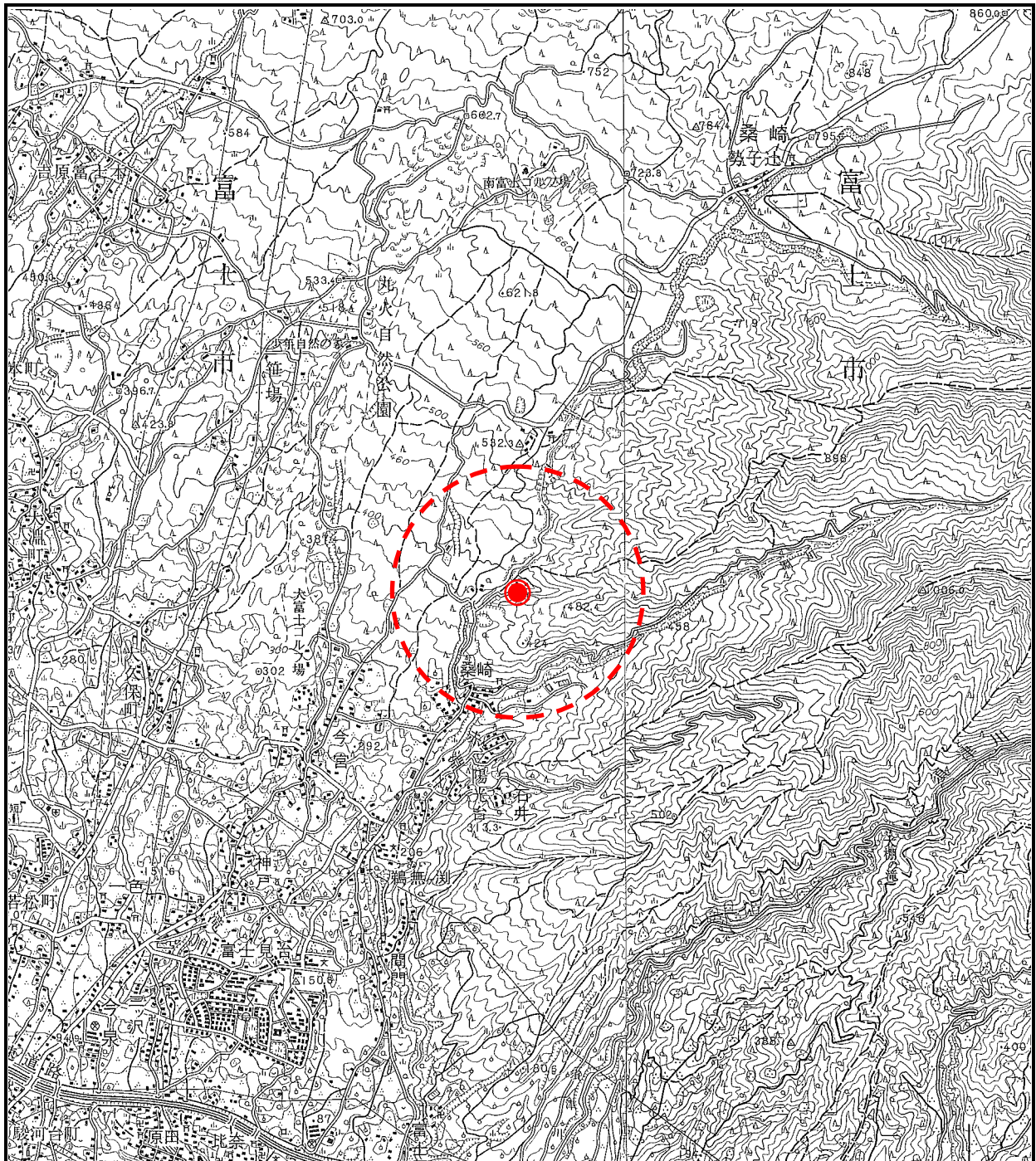
第3章 環境影響評価項目の選定

第3章 環境影響評価項目の選定



3.1 環境影響評価実施区域

環境影響評価実施区域は、事業規模、内容等を考慮し、事業実施位置及びその周辺の概況を把握した結果に加え、概略予測計算により求めた事業実施位置からの排ガスの最大着地濃度出現地点が約 600～650mであることから、半径 1.0km の範囲とした。(図 3-1-1 参照)

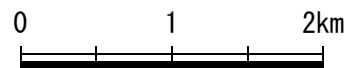
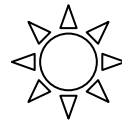
なお、各環境要素の調査、予測地域は、環境影響評価実施地域において環境要素ごとに環境影響を受ける範囲を考慮し、個別に調査、予測地域を設定した。



凡 例

	事業実施位置
	環境影響評価実施区域

N



1:50,000

図 3-1-1
環境影響評価実施区域

3. 2 環境影響評価項目の選定

1. 環境影響要因の抽出

本事業の実施が周辺地域の環境に及ぼす影響を明らかにするため、工事から存在、供用までの一連の諸過程の中から、環境に影響を及ぼすおそれがある要因(以下、「環境影響要因」という。)を「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」に段階を大別して把握した。

事業の実施により環境に影響を及ぼすと考えられる環境影響要因とその影響要因の内容は表 3-2-1 に示すとおりである。

表 3-2-1 環境影響要因の抽出

段階	環境影響要因		影響要因の内容
工事の実施	工所用資材等の搬出入		運搬車両の走行により、大気質・音・振動及び地域交通に影響を及ぼす。
	建屋工事等による建設機械の稼働		建設機械の稼働により、大気質・音及び振動に影響を及ぼす。
	造成等の施工による一時的な影響		建築工事により、産業廃棄物が発生する。
土地又は工作物の存在及び供用	地形改変及び施設の存在		煙突が景観に影響を及ぼす。
	施設の稼働	排ガス	施設の稼働に伴う排ガスにより、大気質・臭い・植物・景観及び温室効果ガスに影響を及ぼす。
		機械等の稼働	機械等の稼働により、音・振動及び臭いに影響を及ぼす。
	資材（廃棄物）等の搬出入		運搬車両の走行により、大気質・音・振動及び地域交通に影響を及ぼす。
	廃棄物の発生		産業廃棄物の増加に影響を及ぼす。

2. 環境影響評価項目の選定

対象事業における環境影響評価の項目の選定は、環境影響要因及び当該環境影響要因によって影響を受けるおそれがある環境の構成要素(以下「環境要素」という。)を細区分することにより行った。

環境影響要因の細区分は環境影響評価を行う時点における事業計画の内容等に応じて、「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」に関し、物質等を排出し、又は既存の環境を損ない若しくは変化させる等の要因を整理した。

環境要素の細区分は、法令等による規制又は目標の有無及び環境に及ぼすおそれがある影響の重大性を考慮し、客観的かつ科学的に検討して適切に定めた。

環境影響評価項目の選定結果を表 3-2-2 のとおり選定した。

なお、選定にあたっては、「発電所の設置又は変更の工事に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」（平成 10 年 6 月 12 日通商産業省令第 54 号）を参考とした。

また、選定した理由又は除外した理由は、表 3-2-3(1)、表 3-2-3(2)、表 3-2-4 (1) 及び表 3-2-4(2)に示すとおりである。

表 3-2-2 環境影響評価項目の選定

環境要素の区分		環境影響要因の区分		工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用							
				入	設 建 一 造 成 等 の 施 工 に よ る 一 時 的 な 影 響	建 屋 工 事 等 に よ る 建 設 機 械 の 稼 動	存 在	地 形 改 変 及 び 施 設 の 存 在	施設の稼動			出 入 資 材 (廃 棄 物) 等 の 搬 入	廃 棄 物 の 発 生	
									排 ガ ス	排 水	機 械 等 の 稼 動			
環境要素の区分		細区分		入	設 建 一 造 等 の 施 工 に よ る 一 時 的 な 影 響	建 屋 工 事 等 に よ る 建 設 機 械 の 稼 動	存 在	地 形 改 変 及 び 施 設 の 存 在	排 ガ ス	排 水	機 械 等 の 稼 動	出 入 資 材 (廃 棄 物) 等 の 搬 入	廃 棄 物 の 発 生	
大気環境	大気質	硫黄酸化物							●					
		窒素酸化物	●	●					●				●	
		浮遊粒子状物質	●	●					●				●	
		粉じん等	×	×									●	
		ダイオキシン類							●					
	音	騒音										●	●	
		振動	●	●								●	●	
		臭い							●			●		
		局地風												
		その他	低周波音											
水環境	水質	水の汚れ								×				
		水の濁り		●	●									
	底質	有害物質		×										
	地下水	地下水の水質		●	●									
その他	富栄養化													
土壌環境	土壌	土壌汚染												
地形及び地質	地盤	地盤沈下												
	地下水	地下水の水位												
	河川	河川												
	海況	海況												
	その他	重要な地形及び地質並びに特異な自然現象					×							
動物・植物・生態系	動物	重要な種及び注目すべき生息地				×	×							
	植物	重要な種及び重要な群落				×	×	●						
	生態系	地域を特徴づける生態系				×	×							
景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観					●	●						
文化財		文化財												
人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場	×				×					×		
廃棄物		産業廃棄物				●							●	
		残土				×								
地球環境		温室効果ガス						●						
その他		日照障害												
		電波障害												
配慮項目		光害												
		地域交通	●										●	
		電磁波												

注) ●：影響要因があるため、環境影響評価の項目として選定した項目

×：影響要因がない、又は影響を受ける保全対象がないため、環境影響評価の項目として選定しない項目

表 3-2-3(1) 環境影響評価項目の選定又は除外した理由(工事の実施)

環境要素の区分		影響要因の区分		選定した理由又は除外した理由		
大気環境	大気質	窒素酸化物	工事中資材等の搬出入	○	工事中資材等の搬出入に伴い、搬出入車両より窒素酸化物が排出されるため、評価項目として選定する。	
			建屋工事等による建設機械の稼働	○	建設機械の稼働に伴い、建設機械より窒素酸化物が排出されるため、評価項目として選定する。	
		浮遊粒子状物質	工事中資材等の搬出入	○	工事中資材等の搬出入に伴い、搬出入車両より浮遊粒子状物質が排出されるため、評価項目として選定する。	
			建屋工事等による建設機械の稼働	○	建設機械の稼働に伴い、建設機械より浮遊粒子状物質が排出されるため、評価項目として選定する。	
		粉じん等	工事中資材等の搬出入	×	事業予定地(計画面積 0.8ha)は既に造成された敷地であり、第2種事業の要件(形状を変更する区域の面積が 5ha 以上)より小規模であるため、評価項目として選定しない。	
			建屋工事等による建設機械の稼働	×	事業予定地(計画面積 0.8ha)は既に造成された敷地であり、第2種事業の要件(形状を変更する区域の面積が 5ha 以上)より小規模であるため、評価項目として選定しない。	
	音	騒音	工事中資材等の搬出入	○	工事中資材等の搬出入に伴い、搬出入車両より騒音が発生するため、評価項目として選定する。	
			建屋工事等による建設機械の稼働	○	建設機械の稼働に伴い、建設機械より騒音が発生するため、評価項目として選定する。	
	振動	振動	工事中資材等の搬出入	○	工事中資材等の搬出入に伴い、搬出入車両より振動が発生するため、評価項目として選定する。	
			建屋工事等による建設機械の稼働	○	建設機械の稼働に伴い、建設機械より振動が発生するため、評価項目として選定する。	
	水環境	水質	水の濁り	建屋工事等による建設機械の稼働	○	建屋工事等に伴い、濁水が発生するため、評価項目として選定する。
				造成等の施工による一時的な影響	○	造成工事に伴い、濁水が発生するため、評価項目として選定する。
底質		有害物質	建屋工事等による建設機械の稼働	×	建屋工事等で発生した濁水は調整池へ溜め、上澄水を放流する。また、事業予定地には有害物質は含まれていないため、評価項目として選定しない。	
地下水		地下水の水質	建屋工事等による建設機械の稼働	○	建屋工事等に伴い、アルカリ性排水が発生するため、評価項目として選定する。	
	造成等の施工による一時的な影響		○	造成工事に伴い、アルカリ性排水が発生するため、評価項目として選定する。		

表 3-2-3(2) 環境影響評価項目の選定又は除外した理由(工事の実施)

環境要素の区分		影響要因の区分	選定した理由又は除外した理由		
動物・植物・生態系	動物	重要な種及び注目すべき生息地	造成等の施工による一時的な影響	×	事業予定地(計画面積 0.8ha)は既に造成された敷地であり、第2種事業の要件(形状を変更する区域の面積が5ha以上)より小規模であるため、評価項目として選定しない。
	植物	重要な種及び重要な群落		×	事業予定地(計画面積 0.8ha)は既に造成された敷地であり、第2種事業の要件(形状を変更する区域の面積が5ha以上)より小規模であるため、評価項目として選定しない。
	生態系	地域を特徴づける生態系		×	事業予定地(計画面積 0.8ha)は既に造成された敷地であり、第2種事業の要件(形状を変更する区域の面積が5ha以上)より小規模であるため、評価項目として選定しない。
人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	工所用資材等の搬出入	×	工所用資材等の搬出入車両は、平日に走行する計画であり、走行ルートに主要な人と自然との触れ合いの活動の場が存在しないので評価項目として選定しない。	
廃棄物	産業廃棄物	造成等の施工による一時的な影響	○	建築工事により産業廃棄物が発生するため、評価項目として選定する。	
	残土		×	想定される残土は約 6,000m ³ 、処分先は約 6.0km離れた民間の残土処分業者に引き渡し、適切に処分するため、評価項目として選定しない。	
配慮項目	地域交通	工所用資材等の搬出入	○	工所用資材等の搬出入に伴い、道路が渋滞する可能性があるため、評価項目として選定する。	

表 3-2-4(1) 環境影響評価項目の選定又は除外した理由(土地又は工作物の存在及び供用)

環境要素の区分		影響要因の区分		選定した理由又は除外した理由	
大気環境	大気質	硫黄酸化物	施設の稼働(排ガス)	○	施設の稼働に伴い、施設より硫黄酸化物が排出されるため、評価項目として選定する。
		窒素酸化物	施設の稼働(排ガス)	○	施設の稼働に伴い、施設より窒素酸化物が排出されるため、評価項目として選定する。
			資材(廃棄物)等の搬出入	○	資材(廃棄物)等の搬出入に伴い、搬出入車両より窒素酸化物が排出されるため、評価項目として選定する。
		浮遊粒子状物質	施設の稼働(排ガス)	○	施設の稼働に伴い、施設より浮遊粒子状物質が排出されるため、評価項目として選定する。
			資材(廃棄物)等の搬出入	○	資材(廃棄物)等の搬出入に伴い、搬出入車両より浮遊粒子状物質が排出されるため、評価項目として選定する。
		ダイオキシン類	施設の稼働(排ガス)	○	施設の稼働に伴い、施設よりダイオキシン類が排出されるため、評価項目として選定する。
		塩化水素	施設の稼働(排ガス)	○	施設の稼働に伴い、施設より塩化水素が排出されるため、評価項目として選定する。
	粉じん	資材(廃棄物)等の搬出入	○	資材(廃棄物)等の搬出入に伴い、粉じんが発生するため、評価項目として選定する。	
	音	騒音	施設の稼働(機械等の稼働)	○	施設の稼働に伴い、施設より騒音が発生するため、評価項目として選定する。
			資材(廃棄物)等の搬出入	○	資材(廃棄物)等の搬出入に伴い、搬出入車両より騒音が発生するため、評価項目として選定する。
	振動	振動	施設の稼働(機械等の稼働)	○	施設の稼働に伴い、施設より振動が発生するため、評価項目として選定する。
			資材(廃棄物)等の搬出入	○	資材(廃棄物)等の搬出入に伴い、搬出入車両より振動が発生するため、評価項目として選定する。
	臭い	悪臭	施設の稼働(排ガス)	○	施設の稼働に伴い、施設より悪臭が発生するため、評価項目として選定する。
			施設の稼働(機械等の稼働)	○	施設の稼働に伴い、施設より悪臭が発生するため、評価項目として選定する。
水環境	水質	水の汚れ	施設の稼働(排水)	×	施設の稼働に伴う排水の発生はない。例年、調整池のpH値は規制値内であり、灰由来のアルカリ性排水が流出することも無いため、評価項目として選定しない。
地形及び地質	その他	重要な地形及び地質並びに特異な自然現象	地形改変及び施設の存在	×	事業予定地(計画面積0.8ha)は既に造成された敷地であり、第2種事業の要件(形状を変更する区域の面積が5ha以上)より小規模である。また、事業予定地には重要な地形及び地質並びに特異な自然現象がないため、評価項目として選定しない。

表 3-2-4(2) 環境影響評価項目の選定又は除外した理由(土地又は工作物の存在及び供用)

環境要素の区分		影響要因の区分		選定した理由又は除外した理由
動物・植物・生態系	動物	重要な種及び注目すべき生息地	地形改変及び施設の存在	× 事業予定地(計画面積0.8ha)は既に造成された敷地であり、第2種事業の要件(形状を変更する区域の面積が5ha以上)より小規模である。また、重要な種及び注目すべき生息地は確認されていないため、評価項目として選定しない。 なお、大気汚染物質の最大着地濃度地点は約900mと予想されるが、愛鷹山自然環境保全地域とは方角が異なるため、評価項目として選定しない。
	植物	重要な種及び重要な群落	地形改変及び施設の存在	× 事業予定地(計画面積0.8ha)は既に造成された敷地であり、第2種事業の要件(形状を変更する区域の面積が5ha以上)より小規模である。また、重要な種及び重要な群落は確認されていないため、評価項目として選定しない。 なお、大気汚染物質の最大着地濃度地点は約900mと予想されるが、愛鷹山自然環境保全地域とは方角が異なるため、評価項目として選定しない。
			施設の稼働(排ガス)	○ 事業予定地の東側に、エビネ及びクロヤツシロラン(いずれも静岡県版レッドデータブック掲載種)が確認された。特にエビネは上層木が茂る林内に生育するため、上層木が枯れ、日照や水分条件などが変化しないよう、可能な限り注意することが必要であるため、評価項目として選定する。
生態系	地域を特徴づける生態系	地形改変及び施設の存在	× 事業予定地(計画面積0.8ha)は既に造成された敷地であり、第2種事業の要件(形状を変更する区域の面積が5ha以上)より小規模である。また、地域を特徴づける生態系は確認されていないため、評価項目として選定しない。 なお、大気汚染物質の最大着地濃度地点は約900mと予想されるが、愛鷹山自然環境保全地域とは方角が異なるため、評価項目として選定しない。	
景観	主要な眺望地点及び景観資源並びに主要な眺望景観	地形改変及び施設の存在	○ 新たな「施設の存在」(煙突)に伴い、眺望点からの眺望が変化する可能性があるため、評価項目として選定する。	
		施設の稼働(排ガス)	○ 冬季は施設の稼働(排ガス)により白煙が発生し、眺望点からの眺望が変化する可能性があるため、評価項目として選定する。	
人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	地形改変及び施設の存在	× 事業予定地周辺に主要な人と自然との触れ合いの活動の場が存在しないので評価項目として選定しない。	
		資材(廃棄物)等の搬出入	× 工所用資材等の搬出入車両は、平日に走行する計画であり、走行ルート上に主要な人と自然との触れ合いの活動の場が存在しないので評価項目として選定しない。	
廃棄物	産業廃棄物	廃棄物の発生	○ 施設の稼働に伴い、施設より産業廃棄物が排出されるため、評価項目として選定する。	
地球環境	温室効果ガス	施設の稼働(排ガス)	○ 施設の稼働に伴い、施設より温室効果ガスが排出されるため、評価項目として選定する。	
配慮項目	地域交通	資材(廃棄物)等の搬出入	○ 資材(廃棄物)等の搬出入に伴い、道路が渋滞する可能性があるため、評価項目として選定する。	